

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.9)

新年を迎えて

旧年中は、日本環境安全事業株式会社(JESCO)豊田事業に、格別のご支援ご理解をいただき、ありがとうございました。本年もよろしくお願いいたします。

昨年4月27日の起工式より建設を開始しました豊田PCB廃棄物処理施設も、本年9月の操業予定に向けて順調に工事を進めております。この事業だよりを通して、市民の皆様にも豊田事業に関する工事状況などをご案内してきたところですが、今年も多くのご紹介、皆様のご理解のもと、安全確実な施設づくりを進めてまいります。

また、本年9月からは豊田市内のPCB廃棄物を優先し、愛知県内のPCB廃棄物を先行して処理を始めさせていただきます。JESCOとしましては、情報の公開を行いながら、安全で確実な処理を行ってまいりますので、よろしくお願い致します。

PCB廃棄物処理事業検討委員会第7回豊田事業部会

12月20日(月)にJESCOのPCB廃棄物処理事業検討委員会第7回豊田事業部会(主査:田中勝岡山大学教授)が開催され、豊田PCB廃棄物処理施設の(1)「安全設計」と(2)「作業従事者の安全衛生管理」について検討しました。

(1)安全設計では、各種の安全対策の内容と安全解析の結果を報告し、審議していただきました。

(2)作業従事者の安全衛生管理は、第6回の事業部会での検討した内容を改めてまとめたものを報告し、ご意見をいただきました。

両議題とも、委員の方々から頂いたご意見を踏まえて修正し、委員の方々の確認を得た後に報告書として公表する予定です。



収集運搬業の許可取得に係る説明会

12月21日(火)に愛知県と県内保健所設置市の共催で、PCB廃棄物の収集運搬業の許可取得に係る説明会が、県自治センターで開催され、約120名の方が参加されました。

(1)始めに愛知県より、PCBの収集運搬に関する法規と東海4県における収集運搬業の許可に係る審査基準について説明があったのち、(2)JESCOから豊田PCB廃棄物処理施設の受入基準と入門を許可する収集運搬事業者に係る認定要綱、及び受入計画について説明しました。

(3)最後に豊田市から収集運搬に係る豊田市との協定の概要について説明がありました。



愛知県及び豊田市がPCB廃棄物処理計画を公表

12月22日(水)に愛知県と豊田市が、同時にPCB廃棄物処理計画を公表しました。

豊田市は「高圧トランス、高圧コンデンサ等の豊田PCB廃棄物処理事業の対象物については、平成20年度末までに全て処分することを目標」とし、愛知県は「平成20年度までに概ね50%を処理する」としています。

また、高圧トランス・コンデンサ等を20台以上保管する事業者に対して、17年度末までに処理計画を策定し、報告することが指導されています。

JESCOとしましても、愛知県並びに豊田市の処理計画に沿って、PCB廃棄物処理に誠心誠意取り組んでまいります。

北九州で開業式



12月18日(土)にJESCO北九州事業所では、環境大臣政務官、北九州市長を始め来賓約100名をお迎えし、開業式を行いました。

JESCOでは、全国5箇所でPCB廃棄物処理施設の建設に取り組んでいますが、北九州第1期施設が最初の施設として完成し、北九州市より処分業の許可を受けて、操業を開始しました。

この施設は北九州の第1期施設で、1日当たり0.5tのPCB分解能力を持つ施設です。

工事の状況

管理棟鉄骨建方完了・外壁ALCの施工開始

施設の管理事務所や情報公開ルーム等が配置される管理棟の鉄骨建方が完了しました。また、処理棟部分では最終節の鉄骨建方が始まり、施設全体の姿を確認することが出来るようになりました。

施設の外壁材であるALCパネル(軽量気泡コンクリートパネル)の施工も始まり、北西面の一部では6階部分まで外壁が完了しています。今後は、残りの最終節鉄骨建方を年始から開始し、1月中に屋上コンクリートの打設を完了する予定です。鉄骨の進捗に伴い外壁ALCパネルの施工も実施し、外壁部の窓や換気用ガラリ等の取付けを行い、外壁塗装工事を実施していきます。



外壁ALC工事が進む北面



鉄骨建て方が完了した管理棟部分

施設内部では、1階のコンデンサー・トランスの解体時にPCBを外部へ飛散させないように解体ラインを囲う遮蔽フードの設置が進んでおり、遮蔽フードの内部を負圧に保つダクト工事や解体機器に接続する配管・電気計装配管配線工事も順調に進捗しています。

遮蔽フード設置後に隠蔽される配管等については、法令手続き通りに確実に設置されているかを段階的に、関係諸官庁の検査を受検しながら工事を進めています。



コンデンサー解体エリア遮蔽フード内部

今月の工事予定

- 1月初旬～ 処理エリア:液処理設備機器据付、1～5階ダクト配管電気工事
鉄骨建方完了、外壁ALCパネル取付、内部間仕切り壁設置
- 1月中旬～ 処理エリア:7階、屋上階スラブ(床面)コンクリート打設、制御室・電気室盤架台設置
管理エリア:1～5階スラブコンクリート打設 外壁ALCパネル取付
付属棟:非常用発電機棟・特高受変電所基礎工事開始



施工者から一言

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

本年は、いよいよ施設の操業へ向けて工事の最終段階へと進んでまいります。昨年6月に建物の基礎杭を打設し本格的に着工して以来、工事を当初の計画通りに進めてくることが出来ました。1月は屋上のスラブコンクリートを打設し、処理施設が上棟する予定です。内部では、大型機器の搬入据付がほぼ完了し、機器間を接続する配管・ダクト・電気計装工事を進めていく予定です。

工事着工以来、無事故無災害で進捗してきましたが、本年は昨年以上の安全施工で竣工まで、全工期無事故無災害で工事を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

クボタ神鋼環境(豊田)異工種建設工事共同企業体
代表者 : 株式会社クボタ
構成員 : 株式会社神鋼環境ソリューション

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)
(連絡先) 豊田事業所

0565-37-7226